



歯科医・彌勒寺寛之の
後悔しない
歯科治療の受け方

第16回
「失った歯を補う方法③」
インプラント・前編

こんにちは。土沢デンタルクリニック院長の彌勒寺です。これまでに失った歯を補う3つの方法のうち、「ブリッジ」と「入れ歯」のメリットとデメリットをご説明しました。今号から2回にわけてもう一つの方法である「インプラント」についてお話しします。

インプラント (implant) とは、体内に埋め込まれる器具の総称で、ここでは人工のチタンでできたネジのようなものを、歯の根っこの代わりとして顎の骨の中に埋め込み、その上にかぶせ物を装着するというものを指します。インプラントのメリットは、ずばりブリッジと入れ歯の欠点がないことです。天然の歯が顎の骨の中に植わって、顎の骨で支えられているのと同じように、インプラントも顎の骨によって支えられるために、バネをかけたり、橋をかけたりする必要がありません。したがって、入れ歯やブリッジのように支えとなる歯に負担をかけることがありませんので、他の歯が抜けやすくなってしまふなどの問題が発生しません。さらに、インプラントは顎の骨の中に植わっていますので、咬んだときの感触、咬み応えが自分の歯に限りなく近い感覚になるのです。そして、脳への刺激も強くなりますので、これまで入れ歯だった方がインプラントをいれると、多くの方が若々

しく、活力に満ちた人生に切り替わったとおっしゃります。

最近ではインプラントの認知度も上がってきておりますが、一方で間違ったイメージを持つ方も多くいらっしゃるようですので、それらの代表的なものについて正しい情報をご紹介します。

● 「手術が怖い」

確かに、「手術」と聞くと怖いイメージが浮かびますので、そのお気持ちはよく分かります。しかし、実際には親知らずを抜くような手術ですので、ケースにもよりますが、そのほとんどが小手術だと思っていただいて結構です。また、手術に伴う痛みも親知らずを抜いたときと同程度だと考えてください。ですので、当院では全身麻酔ではなく、歯を抜くのと同じように局部麻酔をし、だいたい1時間～2時間で手術は終わりますし、手術後の腫れについても、2～3日経てば治ります。これから先の人生において、常に悩みや不満を抱えたまま生きて行くのと、少しの間、手術の恐怖と戦うのとどちらが良いでしょうか？ そして、その手術の恐怖に勝った時に手に入る世界はどのような世界でしょうか？ 是非考えてみてください。



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之 (みろくじ ひろゆき) 1979年東京生まれ
住 所 宇都宮市本丸町11-12 T E L 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>
所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会
日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。
当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

(この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。)

